

石和南小学校周辺地図



授業研究会申込み

次の用紙にご記入いただき峡東教育事務所へFAXにてお知らせください。

峡東教育事務所 FAX 0553-20-2733
*10月16日(金)までをお願いします。

学校				記載者氏名			
算数科授業研究会 10月26日(月)				理科授業研究会 11月25日(水)			
No.	氏名	授業	研究会	No.	氏名	授業	研究会
例	南 太郎	○	○	例	南 次郎	○	
1				1			
2				2			
3				3			
4				4			
5				5			
6				6			
7				7			

平成27年度山梨県教育委員会授業改善プラン実践事業推進校
笛吹市立石和南小学校「授業研究会」のご案内

標記事業の推進校であります、笛吹市石和南小学校におきまして、次の内容で授業研究会を開催いたします。
つきましては、本案内をご覧いただき、ご参会いただきますようお願いいたします。

一人一人の確かな学力の向上をめざして
～指導方法・学習環境の工夫改善を通して～
(2年次)



1 期 日

《算数科授業研究会》 平成27年10月26日(月)

《理科授業研究会》 平成27年11月25日(水)

2 会 場

笛吹市立石和南小学校
(笛吹市石和町市部720 TEL 055-262-2809)

3 日 程

(算数科・理科授業研究会とも同日程です)

- ◇ 受 付 13:30 ~ 13:45 (校庭側正面玄関)
- ◇ 授業公開 13:50 ~ 14:35
- ◇ 授業研究会 15:10 ~ 16:30 (会議室)

◆◆◆ 授業改善のポイントと公開授業 ◆◆◆

【算数科】

①課題に対して既習知識を使って大まかな数値を見通し、図や数直線や線分図を用いて思考し、解決の方法を導きだし自分の考えの広まり深まりを振り返るという習慣づけをする。

- ア 活動場面をカード化（見通す・かいて考える・チェック・その他発達段階に応じたもの）したものを黒板に貼って、活動を意識させ、習慣化を図る。
見通す・・・問題文を読み、既習内容の何を使えばよいのか、どのような計算を使えばよいのか考えたり、答えを量的に捉え予想を立てたりする。
チェック・・・自分自身の考えを出した時点、または、全体で共有して考えた答えに対して、見通した通りになっているか否かチェックを入れる。

②図や数直線や線分図などを用いて、解決の方法を他者に分かりやすく表現する活動を通し、自分が考えたことを説明する活動を取り入れる。

- ア 問題文から題意をとらえ、解決の方法として図や数直線、線分図でノート等にかいて考える。
イ 「なぜそのような式や考えになるのか」を図や数直線や線分図などを用いて論理だてて説明できるようにする。

③いくつかの解き方や考え方を図や数直線や線分図などを根拠に説明し伝え合う中で、比較検討し、違いや共通性を見つけ、数学的な考え方の広まり深まりが児童に感じられる交流の場を設ける。

- ア 提示された異なる考えを聞く。
イ 意見交換をするなかで、共通点、相違点をみつけそれぞれの数学的なよさを発見する。
ウ 自分の考えの深まり広まりについて振り返って考える。

《4年算数》

単元名 「計算のやくそくを調べよう」

授業者 網倉 明美 教諭（4年1組）



【理科】

①問題解決学習のステップに沿ったワークシートを活用し、特に考察の場面では、自分が立てた予想を振り返りながら、根拠や理由をもとに説明できるようにする。

・「問題」→「仮説」→「実験・観察」→「結果」→「考察」→「結論」の学習過程にそって授業を進めていく。

【問題】 問題文（「～だろうか？」という文末表現）になるように設定させる。



【仮説】 生活体験や導入時の体験活動をもとに、仮説（予想）を立てさせる。その際には、自分なりの理由を書かせるようにさせる。（「理科事典」も活用）



【結果】 児童が「横の考察」をしやすいように、「板書」の整理



【考察】 ①「結果から何が言えるのか」を「自分が立てた仮説」と照らしあわせまとめる。その際には、「予想通り（予想とちがって）」、「それはたぶん」といった、決まった言葉を使わせることで筋道立てて文章が書けるようにする。→**【縦の考察】**



②学級全体の結果を見比べながら考察し、結論につなげる。
→**【横の考察】**
★今年度も、特にこの「考察」の過程を大切にします！

【結論】 「横の考察」を検討しながら、まとめていく。その際には、きちんと【問題】に対応しているか、【キーワード】が書かれているかを確認する。記述に必要な理科学的用語やキーワードを明示する。

②学習したことをもとに「理科事典」を児童自らが作成し、ノートやワークシートを書く際には、事典を活用しながら理科学的用語を意識的に使うようにしていく。

- ・ワークシートに記述する際には、「理科学用語」を意識的に引用させる。
- ・「理科学用語」は、「理科事典」にまとめ、いつでも活用できるようにする。

《6年理科》

授業者 志村美貴緒 教諭（6年1組）

単元名 「水溶液の性質とはたらき」

